

令和7年度 入学式 式辞

あたたかくやわらかな春風の香り、厚別（あしりべつ）川の心地よいせせらぎの中に躍動の息吹を感じられるようになりました。

この春のよき日に、PTA会長様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、また、保護者・ご家族の皆様のご列席のもと、市立札幌清田高等学校第51回入学式を挙行できますことは大きな喜びであり、職員を代表し、厚くお礼申し上げます。

ただいま入学を許可しました240名の第51期生の皆さん、入学おめでとうございます。いま、皆さんの胸中は、入学の喜びと、今後の高校生活に向けての大きな期待に満ちていることと思います。在校生、職員一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

本校は昭和50年に開校し、本年度で創立50周年、新たな半世紀に向けた歩み始める、区切りの年を迎えました。本校の伝統あるよき校風と「スクール・ミッション」と「学校教育の目標」に支えられた、本校のアイデンティティが、皆さんの諸先輩や職員、本校へご支援いただいている多くの皆様によって支えられています。

「スクール・ミッション」により本校に与えられている使命は、「未来に向かって、自ら考え、自ら学び、寛容な心で世界と協働し、積極的に社会に貢献する人材を育成する学びの場」です。

また、「学校教育の目標」は、「すべてのことに、なぜと問い、きわめ確かめる生徒であれ」「なにごとにも、なおもっと、と立ち向かう生徒であれ」「心身ともに健康な、たくましい体力を目指す生徒であれ」「美しいもの、崇高なもの、に深く感動する生徒であれ」です。皆さんに目指してほしい生徒像で、開校以来の不変な目標になっています。

私は、第51期生の皆さんを、本校のアイデンティティをともに紡ぐ一員、そして仲間として、お迎えできることを大変うれしく、誇らしく感じているところです。

校歌に「紺青（こんじょう）の色／世界をつつむ」とあります。スクールカラーである「紺青」は、濃い紫を帯びた渋くて深い青色であり、「誠実」「探究心」をイメージする色とされています。ぜひ紺青の色につつまれた世界に飛び出してほしいと思います。

「米米CLUB」の1990年の楽曲に「浪漫飛行」があります。

逢いたいと思うことが何よりも大切だよ
苦しみの裏側にあることに目を向けて 夢をみてよ どんな時でも
全てはそこから始まるはずさ

時が流れて 誰もが行き過ぎても you're just a friend この胸に

皆さんの「逢いたい」と思う夢や浪漫、情熱を「どんな時でも」心にもち、それにときめきながら、紺青の色がつつむ本校の時空へとテイクオフしてほしい。これから先、つまずいたり、傷ついたり、そんな「苦しさ」もあるでしょう。その「苦しみの裏側」にある、夢や浪漫に目を向けて、その苦しさを乗り越えるひたむきさ、「なおもっと」と立ち向かう姿勢を、ぜひともこの学校生活の中で追求してほしい。また、様々な出会いや経験を大切に「深く感動」する「ときめき」をさわやかに希求してほしい。そう願っています。

「you're just a friend／この胸に」と思う気持ちがあってほしいと思っています。時が流れ、学校生活の日々をふと振り返った時、ここで築いた友情の絆、その絆を決して悲しいものにしてほしくないと思っています。スクール・ミッションにある「寛容な心」を持ち合わせながら、「いじめは絶対にしない、させない、許さない」という意識をもち、皆さん一人一人が楽しく過ごす素敵な3年間にしてほしいと願っています。

さて、保護者・ご家族の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。お子様のはぐくみを支えるためには、ご家庭との密なる連携と協働が大切だと考えます。保護者の皆様には、本校の教育方針、教育活動にご理解をいただき、お子様の成長を温かく見守り、人生の先輩としてのアドバイスや励ましの言葉をかけていただきたいと思います。どうぞ、これからも本校へのご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、本日、晴れてこの入学式を迎えられました第51期生の皆さんが、素敵な3年間で過ごせるよう、そして未来へむけた浪漫飛行に助力できるよう、職員一同、全力でサポートすることをお約束し、式辞といたします。

令和7年4月8日

市立札幌清田高等学校
校長 三 関 直 樹